

住み良いまちをめざして

ごみの減量化

清掃センターやごみ最終処分場などを見学した小合小学校の皆さんからのお手紙を、一部紹介します。

□小合小四年 片岡靖志くん
はくが清掃センターを見学し、一番おどろいたことは、ごみを七百五十度から九百五十度の熱でもやしていることです。また、ごみをためる所は深さが五メートル、えんとつの高さは約五十メートルあると聞いて、今まで知らなかったことをたくさん学ぶことができました。これ

から、ごみのことをセンターのおじさんからいろいろ教えてもらい、もっと勉強したいです。そして、リサイクル運動を行い、ごみを少しでもへらし、まちをきれいにしたいと思っています。

□小合小四年 岡田かおりさん
最終処分場では、大きなじしゃくで、ごみを鉄とガラスにわけける機械があり、わずかに二人でそうじゅうしていました。二人で機械をささえているなんてす

ごみの施設を見学して

のいっぱいあるにいつのまちが好きです。大切にしたいです。そのために、ごみはできるだけ出さないように、みんなで協力していかなければならないと思います。

5つのポイント

5つのポイント

- ①ごみになると分かっている物は、家庭に持ち込まないようにしましょう。
- ②ごみは決められた日に分けて出しましょう。
 - ・燃えるごみは透明または乳白色の袋に入れてください。
 - ・古紙は新聞、雑誌、段ボール、紙箱に分別し、ひもで十字にしばってください。
 - ・ガラスびんは、ポリ袋や箱から出し、コンテナに入れてください。
- ③台所ごみは、なるべく生ごみ処理器で処理しましょう。
- ④地域の有価物回収事業を活用しましょう。
- ⑤再生紙を使うなど、リサイクル運動に努めましょう。

これまで、ごみの少ない、住み良いまちづくりのために、有価物回収事業」のほかに、「生ごみ処理器の購入」や「有価物集団回収奨励金制度」など、さまざまなごみ減量化施策を実施してきました。その一方で、資源ごみの再利用が、今ひとつ不十分であることが指摘されています。これからは、ごみの減量化とあわせ、資源ごみの再利用を積極的に進めていかなければなりません。

使い捨て文化からの脱皮を目指して

ごいと思ひました。初めて知ったことは、昔までたくさんあった処分場が、今ではのり少なくなっていることです。だから、このまま増えつづけるごみを処分するのは、また田んぼや畑をせめなければならぬ。わたしは田んぼや畑のいっぱいあるにいつのまちが好きです。大切にしたいです。そのために、ごみはできるだけ出さないように、みんなで協力していかなければならないと思います。

お買物、ご用命は市内で

住まいのガードマン
電話 (0250) 24-2287
南山中工務店
五十嵐便利屋サービス
新津市滝谷町19-3

- 便所の改造
 - 雨漏り修理
 - カワラの吹付
 - 風呂場の改造
- (ユニットバスに入れ替え)

靴なら何でも揃うイザワ

旧市役所前の靴のイザワ

TEL 22-0625

*あるく楽しさを
お届けする—*



みんなで工夫 ごみの減量化

ごみの少ない 住み良いまちづくり

2年続けて ごみの減量化に成功

現在、市内では一年間にどれくらいのごみを減量しているのでしょうか。

左の表をみますと、平成四年度に出されたごみの量は、前年度に比べ一・八%の減少になりました。減量したごみの量は、三百九十二t、これを一人当た

全国的にごみの減量化が叫ばれ、ごみの出し方や生かし方が盛んに問われています。市ではごみの減量化を呼びかけ、市民の皆さんは、ごみは捨てるものでなく、生かすもの」という意識のもと、各町内会・自治会ごとにごみの分別回収やリサイクル運動を行い、「新津のごみ戦争」がスタートしました。

今回は、市民の皆さんが取り組んできているごみの減量化の現状についてご紹介いたします。

平成3、4年度のごみの発生量

	平成3年度	平成4年度	増減率
燃えるごみ	20,230 t	19,825 t	-2.0%
燃えないごみ	1,954 t	1,961 t	0.4%
粗大ごみ	138 t	144 t	4.4%
合計	22,322 t	21,930 t	-1.8%

ごみの減量化ができた一番の要因は、古紙回収にあります。紙は、現代社会では、情報や文

まちあげての 有価物回収作業

り換算すると、一日約一六〇年間で五千八百四十tとなり、一人当たり換算すれば、わずかな量ですが、平成三年度から二年続けての減量と、ごみのダイエット作戦は少しずつ成果をあげてきています。

そこで、市では平成三年十月から「全市一斉有価物回収事業」に取り組み、紙ごみを資源として生かすため、徹底的に分別して出すようにしました。各町内会では、市民の皆さんがごみの分別と減量化について講習会を開き、家庭や地域で出るごみは責任を持って処理し、生かしていこうと、地道な回収事業を続けてきました。その結果、紙ごみは「資源」として生まれ変わり、平成四年度の資源ごみ(古紙・ガラスびん。そのうち古紙が約六五%)は、前年度に比べ二〇・二%の大幅な増加がみられました。このことは、ごみの減量化とともに、紙を作り出す木を切らずにすみ、地球の緑を守ることに繋がります。

化、産業を支える貴重な素材で、私たちの生活になくてはならないものです。しかし、紙は市内で出る燃えるごみの五〇%近くを占めるため、紙の利用増加がごみ全体の増加につながっていました。

ごみ集積所 収集日

燃えるごみ	毎週火・木・土曜日 (祝祭日は収集しない)
燃えないごみ	毎月2回 (お花かんざりでごみ下し)
有価物(資源ごみ) 古紙・ガラスびん	毎月1回 (お花かんざりでごみ下し)

◆この集積所には、可燃物以外に発生したごみを置くことはできません。
◆この集積所に出された物を、市指定業者以外の方が持ち出すことはできません。町内会管理

お買物、ご用命は市内で

香港・マカオ旅行ペアでご招待!
その他賞品多数

豊まつり

6/15(火)→10/31(日)

・詳しくは新津豊協同組合加盟店でお聞きください。

品質保証付
新量 15,000円
表替 8,500円 (各税別)

●当方が自信を持っておすすめする品物です

新津豊協同組合
☎22-7923